

温泉の恵みに感謝

6.26 露天風呂の日

ぐるっと まにわ 真庭



湯原こども園の園児らの手で626個の風船が空高く舞い上がりました

6月26日、湯原温泉街で温泉の恵みに感謝する催し、「露天風呂の日」が開催されました。6時26分に温泉之祖神（美甘末玄顕彰碑）参拝、天与の恵みに感謝し露天風呂を大掃除、薬師堂で薬湯をくみ取るお湯取りの儀を行いました。その後ショウブの葉や、湯原温泉地内にある10カ所の温泉のお湯を露天風呂に入れる温泉感謝の集いが行われました。また、温泉街には露店も並び、市内外から訪れた多くの観光客で賑わいました。

鍾乳穴で「いいね」獲得

備中鍾乳穴夜間営業

6月30日と7月1日、備中鍾乳穴で夜間営業とイベントが行われました。6月下旬から7月上旬にかけて飛び交うヒメボタルの見物に訪れる人たちに、鍾乳穴神社の奥の院である鍾乳穴の神秘の力を授かってもらおうと、北房観光協会が今回初めて企画しました。30日には音楽ライブが行われたほか、鍾乳穴の中にSNSに投稿する写真撮影用のパネルが設置され、訪れた人たちが記念撮影をしていました。



参加者みんなで記念撮影

放課後児童クラブ「かっこ」開所式

7月2日、樫岳幼稚園で放課後児童クラブ「かっこ」の開所式が行われました。地区代表者などが来賓として参加し、大塚知子代表が「多くの関係者に支えられ放課後児童クラブが開所できました。これからも皆さんのご支援をお願いします」とあいさつ。来賓祝辞の後には、児童を代表し6年生の幸村優斗くんが「かっこ」の看板へ入刀を行いました。その後、餅投げを行い、地域関係者と児童が親睦を深めました。



パネルを使って記念撮影を行う参加者たち

6/27 犯罪から子どもたちを守れ

真庭警察署と遷喬学区見守り隊などが協力して見守り運動を行いました。遷喬学区見守り隊は子どもたちを犯罪から遠ざけるため登下校の時間帯に合わせ地区内の見守り活動を行っています。



7/13 コスモス満開の秋楽しみに

上水田のコスモス広場に70人が集まって、コスモスの種まきが行われました。北房地域の32団体で作る北房コスモス街道整備委員会が毎年、今の時期に行っていて、花は10月ごろ満開を迎えます。



7/11 感謝しながら笑顔で過ごす

時尾一江さん（台金屋）が7月14日に百歳を迎えられました。毎日の日課は、色鉛筆を使って絵日記をつけること。周りの人に感謝しながら、いつも笑顔で過ごすことが長寿の秘訣ということです。



7/12 生きがいを持ち、交流を大切に

中井哲子さん（月田）が7月8日に百歳を迎えられました。人との交流を大切に、94歳まで生け花と茶道の先生として活躍。百歳になった今でも、食事は息子さん夫婦と同じものを好き嫌いなく食べています。



7/20 若い頃から病気知らず

近藤秀子さん（惣）が7月23日に百歳を迎えられました。若い頃から病気をすることがなく、趣味は書道と旅行。今でも何でもよく食べ、とても元気に家族とお話をしながら過ごされています。



さっそくアクティビティに挑戦する参加者

7月21日、「冒険の森inひるぜん」がオープンし、完成式典が行われました。式典では、「薪を割るテーパーカット」で新施設の誕生を祝いました。このアウトドアパークでは、真庭・トンボの森づくりで整備された森林の一部、約6万㎡にコースが作られ、木々の間を滑り降りる「ジップライン」など、さまざまなアクティビティを楽しむことができ、周辺の森林整備を行いながら順次コースを拡大する予定です。

アウトドアパーク開園 冒険の森完成式典



大勢の人で賑わう木テラス

7月21日、JR久世駅隣のCLT建造物「木テラス」で夏祭りが行われました。かつて久世の商店街などで開かれていた土曜夜市のにぎわいを再現し、町の玄関口である地区の活性化につなげようと、真庭商工会青年部久世エリアが企画。地元地区の、久世祭りのだんじりの青年らをはじめとした有志11団体が、焼きそばやボールすくいなどの店を出し、子供から大人まで買い物やアトラクションのダンスを楽しみました。

土曜夜市のにぎわい再び 木テラス夏まつり